



制作：名城大学薬学部 病態解析学Ⅰ・
Eプロ（中村真理子、武藤利奈、
佐治凧帆、野田幸裕）、薬品作用学（
間宮隆吉）

平成30年11月3日（土）名城大学祭 名城大学八事キャンパスにて
Eプロは「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」を
テーマに「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を開催。

共催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）

名城大学薬学部では出前講義として、高齢者や小学生にも「くすり」や「薬物依存」のことも知ってもらおう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。こうした社会活動を本年度は名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の薬学生と共に行っています。Eプロとは、大学が課外活動を支援する事業「Enjoy Learning プロジェクト」の通称です。

平成30年11月1日（木）～3日（土）、名城大学八事キャンパスにて開催されました名城大学祭において、Eプロ主催の「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を下記の内容にて行いました。天白区薬剤師会 須川雅之先生、矢野宗敏先生、清水昭博先生、名城大学薬学部 野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事）、間宮隆吉准教授（NPO J-DO 理事）のご協力により、当日は、子供から大人まで幅広い年齢層の地域住民41名が「くすり」について学び、「色が変わる実験が楽しかった」「薬物乱用について勉強になった」と大好評でした。Eプロの活動としては、6回目となりました。



——— 名城大学八事キャンパスにおける「くすり教室」 ———

日時：平成30年11月3日（土）10時00分～11時30分

場所：名城大学八事キャンパス薬学部 3号館302教室

内容：

- ・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で参加者が答える、参加型で行いました。学部5年の武藤利奈を中心としたEプロおくすり110番のメンバーがスライドを使ってわかりやすく説明し、問い掛けに対して児童だけでなく、保護者や高齢者など、参加者全員が活発に答えてくれました。

- ・「体験実験」

学部5年の中村真理子を中心としたEプロおくすり110番のメンバーがスライドを使って、実験内容を解説しながら体験実験を行いました。参加者は1グループ3～5名程度に分かれ、天白区薬剤師会 矢野宗敏先生、清水昭博先生および薬学生（病態解析学Ⅰ・Eプロ5年生5名、4年生4名）の補助・解説を受けました。児童はくすりが食品などで色が変わるのを間近で体験し、驚きの声や歓声がわきあがりました。

<実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

名城大学八事キャンパスにおける授業

「乱用薬物には絶対手を出さない！」

日時：平成 30 年 1 月 3 日（土） 13 時 00 分～14 時 00 分

場所：名城大学八事キャンパス薬学部 3 号館 302 教室

内容：

- ・「乱用薬物には絶対手を出さない！」：実験を交えた講義

学部 5 年の高須光平を中心とした E プロおくり 110 番のメンバーがスライドを使用してわかりやすく以下について説明しました。

1. どのような薬がドラッグとして乱用されているか
2. 薬物乱用はどのように怖いのか
3. 乱用されている薬の正しい情報
4. 薬物乱用者の実態
5. 薬物乱用に対してみんなが出来ること？

講義中には、「タバコによって成長はどうなってしまうのだろう？」については連続写真を用いて、「お酒を大量に飲むと肝臓はどうなってしまうのだろう？」「シンナーを吸うと体はどうなってしまうのだろう？」については各グループで薬学生によるデモ実験により、視覚的に理解を深めてもらいました。児童からは「タバコを吸った肺はすぐわかる！」「薬物依存って恐ろしいものなんだ」という声が多く聞かれ、薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと理解できたようでした。

